

問1 東北地方では、米の農業生産額が全国シェアの約25%を超えるほど稲作が発展していますが、このように「日本の食料基地」と呼ばれるまでに至った背景や工夫として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 冬の積雪を農業用水として利用するために、山間部の傾斜地を切り拓いて数多くの棚田を造り、生産量を増やしたから。 | 2. 化学肥料に頼らない伝統的な農法を維持し、小規模な家族経営の農家が多品目の米を少しずつ生産する体制を守ってきたから。 | 3. 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。 | 4. 政府の減反政策に対応するため、米の生産面積を縮小し、付加価値の高い果樹栽培へ全面的に転換を図ったから。 |
|---|--|---|--|

問2 地域の空き家対策のように、利害関係が複雑な課題を住民自らが考える学習プロセスにおいて、合意形成を目指す際に重視される「社会教育」の視点として適切な説明はどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 個人的な利益のみを追求することを推奨し、個々の要望をすべて満たす妥協点を見つけ出す。 | 2. 多数派の意見が常に正しいという前提に立ち、少数派の意見を説得して速やかに方針を決定する。 | 3. 住民一人ひとりが地域の課題を自らの問題として捉え、学びを通じて他者の意見を尊重しながら解決策を模索する。 | 4. 特定の有力者の意見に集団が従うよう、住民の考え方を統一するための教育を行う。 |
|---|---|---|---|

問3 日本が主要な輸入先である西アジアから石油を運ぶ海上ルートにおいて、マレー半島とスマトラ島に挟まれた、海上交通の要所となっている海峡の名称を選択肢から選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. ホルムズ海峡 | 2. マラッカ海峡 | 3. ボスボラス海峡 | 4. ドーバー海峡 |
|-----------|-----------|------------|-----------|

問4 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。社会権の代表的な権利であり、国が生活保護や社会保障制度を通じて国民の生活を支える根拠となっているこの権利は何ですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|----------|--------|-------------|
| 1. 労働基本権 | 2. 勤労の権利 | 3. 生存権 | 4. 教育を受ける権利 |
|----------|----------|--------|-------------|

問5 日本の経済成長率に大きな影響を与えた出来事とその時期の経済状況の説明として、背景や因果関係が最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 1960年代は、バブル経済の影響によって経済成長率が初めてマイナスを記録し、経済が混乱した時期である。 | 2. バブル経済の崩壊により、資産価格の下落とともに企業の投資や個人の消費が冷え込み、長期間の低成長を招いた。 | 3. 1970年代の石油危機は、日本が低成長から高度経済成長へと移行するきっかけとなった。 | 4. 2008年の世界金融危機により、世界的な需要が高まったことで、日本の経済成長率は過去最高水準まで上昇した。 |
|--|---|---|--|

問6 脳死後や心停止後の臓器提供について、本人が自らの意思を選択し署名することで意思表示を行う「臓器提供意思表示カード」のような仕組みは、ある権利の考え方に基づいています。生命や身体に関わる重要な事柄を、自分の意思で選択・決定する権利を何といいますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|----------|--------------|--------|
| 1. 請求権 | 2. 自己決定権 | 3. プライバシーの権利 | 4. 環境権 |
|--------|----------|--------------|--------|

問7 若年層の流出から「限界集落」が発生し、公共施設の維持が困難になるという一連の流れにおいて、自治体が直面している課題の背景として正しいものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 人口減少によって税収が落ち込む一方で、施設の老朽化対策や福祉などの財政需要が減らないため | 2. 若年層がいなくなると、地方税を徴収するための事務作業を行う職員を一人も雇用できなくなるため | 3. 少子化が進むと国の制度によって地方交付税交付金の配分が自動的に停止される仕組みになっているため | 4. 過疎化が進む地域では、住民の合意によってすべての公共施設を閉鎖しなければならないと定められているため |
|---|--|--|---|

問8 明治時代初期の教育状況について、1875年ごろの統計では男子の就学率が約40%であったのに対し、女子は約20%にとどまっていた。このように当初、女子の就学率が低かった背景として最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 家計への重い負担に加え、女子は家庭内での労働力として期待されていたから | 2. 女子を対象とした学校が全国に一箇所も設置されていなかったから | 3. 政府が女子に対しては学校への入学を法律で禁止していたから | 4. 女子の授業料だけが男子に比べて数倍高く設定されていたから |
|--|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|

問9 北陸新幹線が福井駅から軽井沢駅の間を走行する際、車窓からは中部地方特有の険しい山岳景観を望むことができます。この路線の北側に広がる飛騨山脈が、周辺地域の生活や産業に与えている影響や特徴を説明したものとして、背景や位置関係が最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 飛騨山脈は四国地方と中国地方の境界をなしており、古くから交通の要所としてトンネル整備が進んでいた。 | 2. 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。 | 3. 飛騨山脈は太平洋側に位置しているため、冬には乾燥した季節風を遮り、北陸地方に晴天をもたらす要因となっている。 | 4. 飛騨山脈は標高が低く平坦な土地が多いため、新幹線の沿線には広大な工業団地が形成されている。 |
|--|---|---|--|

問10 中国、日本、ASEAN（東南アジア諸国連合）の3つの地域を比較した統計において、面積と国内総生産（GDP）が最大である一方で、一人あたりのGDPは日本よりも低くなっている地域はどこですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|----------|-------|--------|
| 1. 中国 | 2. ASEAN | 3. 日本 | 4. インド |
|-------|----------|-------|--------|

問11 都市部から地方への人の動きについて説明した次の文章のうち、Iターンに該当するものはどれですか。最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 地方から都市部の企業に就職した人が、結婚や転職を機に、自身の出身地へ戻って生活すること。 | 2. 地方の町村で生まれ育った人が、出身地の近くにある地方の中核都市へ移住して働くこと。 | 3. 都市部で生まれ育った人が、就職や自身のライフスタイルの変化などをきっかけに、縁のなかった地方へ移住すること。 | 4. 地方の農村部で生まれ育った人が、都市部の大学へ進学し、そのまま都市部で就職すること。 |
|---|--|---|---|

問12 鎌倉時代に普及した「禅宗」の特色について、それ以前に広まっていた「浄土教」の考え方と比較した説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 極楽浄土への往生を願うのではなく、現世での利益を得るための祈祷を主な修行とした。 | 2. 阿弥陀如来の救いにするのではなく、厳しい修行を通じて自らの力で悟りを開こうとした。 | 3. 特定の仏を信仰の対象とせず、日本古来の神々を鎮めるための儀式を重んじた。 | 4. 念仏を唱えることよりも、経典を書き写す写経によって功德を積むことを重視した。 |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。	東北地方は本来、冷害（やませ等による低温被害）を受けやすい地域でしたが、寒さに強い品種の研究開発や、機械化に適した大規模な水田の整備（区画整理やかんがい施設の充実）が進んだことで、安定した高い生産力を確保できるようになりました。現在では「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」など、良質な銘柄米の産地としても知られています。
問2	答え 3 住民一人ひとりが地域の課題を自らの問題として捉え、学びを通じて他者の意見を尊重しながら解決策を模索する。	社会教育を通じた合意形成のプロセスでは、住民が自発的に地域の課題を学び、対話を通じて異なる価値観を理解することが求められます。自分たちの地域の未来を自分たちで考える主体的な姿勢が、課題解決に向けた持続可能な合意を生み出す基盤となります。
問3	答え 2 マラッカ海峡	マレー半島とスマトラ島の間にあるこの海峡は、インド洋と太平洋（南シナ海）を結ぶ最短ルート上に位置しています。日本が西アジアから輸入する石油の大部分を載せたタンカーがここを通過するため、日本の経済にとって極めて重要な「シーレーン（海上交通路）」の一部となっています。
問4	答え 3 生存権	生存権は、社会権のなかでも中心的な役割を果たす権利です。日本国憲法第25条の第1項でこの権利を規定し、第2項では国に対して社会福祉や社会保障、公衆衛生の向上に努める義務を課しています。生活保護制度などはこの生存権の保障を具体化するための仕組みです。
問5	答え 2 バブル経済の崩壊により、資産価格の下落とともに企業の投資や個人の消費が冷え込み、長期間の低成長を招いた。	1980年代後半からの過剰な投機によるバブル経済が1991年頃に崩壊すると、株価や地価が急落し、日本経済は深刻な不況に陥りました。これ以降、企業や家計の心理が慎重になり、経済成長率は低水準にとどまる「失われた30年」とも呼ばれる状況が生まれています。2008年の世界金融危機では輸出の減少などから大幅なマイナス成長となるなど、外部要因による変動も激しくなっています。
問6	答え 2 自己決定権	医療技術の進歩により、延命治療の選択や臓器提供の是非といった、生命のあり方に直結する場面が増えています。こうした場面で、他人の強制ではなく本人の意思を尊重しようとする考え方がこの権利の核心です。情報の公開を拒む「プライバシーの権利」とは異なり、自分自身の生き方や死のあり方を「自ら選ぶ」という積極的な側面を持っています。
問7	答え 1 人口減少によって税収が落ち込む一方で、施設の老朽化対策や福祉などの財政需要が減らないため	若年層の流出による過疎化は、地方税の収入の減少を招きます。しかし、住民が生活するために必要な公共施設やインフラ（道路・水道等）の維持管理費、さらには高齢化に伴う社会保障費などの支出は、人口が減ってもすぐには減りません。このように、収入が減る中で必要な支出を賄わなければならないことが、地方財政を悪化させる大きな背景となっています。
問8	答え 1 家計への重い負担に加え、女子は家庭内での労働力として期待されていたから	学制が始まった当初、学校の運営費や授業料は家庭が負担しなければならず、農村部などを中心に大きな経済的負担となりました。また、当時の社会では「女子に教育は不要」という考えが根強く、女子は子守りや家事の手伝いといった労働力として重視されていたため、男子に比べて就学が大きく遅れる原因となりました。
問9	答え 2 飛騨山脈は大規模な砂防ダムや水力発電所が建設されるなど、急峻な地形を利用した開発が行われてきた。	飛騨山脈（北アルプス）は3000メートル級の山々が連なる急峻な地形であるため、冬の積雪が多く、急流を利用した水力発電が盛んです。また、土砂災害を防ぐための砂防事業も古くから行われてきました。北陸新幹線のルートはこの険しい山塊の北端付近を通っており、トンネル技術の向上によって安定した輸送が可能になりました。他の選択肢については、飛騨山脈が日本海側に近く、冬の湿った季節風を受けて北陸に豪雪をもたらす要因であることや、場所が中部地方であることを考慮すると不適切です。
問10	答え 1 中国	中国は広大な国土を持ち、国内総生産（GDP）の総額では世界有数の規模を誇りますが、人口が非常に多いため、国内総生産を人口で割って算出される「一人あたりのGDP」は、日本などの先進国と比較すると低い水準に留まっています。一方、日本は面積こそ最小ですが、一人あたりのGDPはこれら3つの地域の中で最も高い数値を示します。
問11	答え 3 都市部で生まれ育った人が、就職や自身のライフスタイルの変化などをきっかけに、縁のなかった地方へ移住すること。	都市部から出身地ではない地方へ移住する形態を、アルファベットの「I」の字の動きに見立ててIターンと呼びます。これに対し、地方から都市部へ出た後に再び出身地へ戻ることをUターン、出身地の近くにある地方都市へ移住することをJターンと呼び、それぞれ区別されます。
問12	答え 2 阿弥陀如来の救いにすがるのはなく、厳しい修行を通じて自らの力で悟りを開こうとした。	浄土教が阿弥陀如来という他者の力に頼る「他力」の教えであるのに対し、禅宗は座禅などの修行によって自分自身の力で悟りを得ようとする「自力」の教えであることが大きな違いです。この精神的な厳しさが、命がけで戦う当時の武士たちの支持を集める要因となりました。